

2009年4月22日

<付記>

**母の日に聞く、女性の健康意識調査  
<娘の健康管理に関する母親の意識調査>  
調査の概要**

■調査の目的

娘の婦人科系疾患の健康管理に関する母親の意識を明らかにし、家庭内における母親の娘に対する健康管理を促進する要素を探る。

■調査の対象

- ① 年齢（30～59歳）
- ② 15歳から24歳の娘を持つ女性          計600サンプル

■標本規模

	30～39歳	40～49歳	50～59歳	計
専業主婦	100	100	100	300
仕事を持つ主婦	100	100	100	300
計	200	200	200	600

■調査方法

インターネット定量調査

■調査の実施期間

2009年3月20日～3月22日

以上

<注>

※この調査における「婦人科系疾患」とは、乳がん、子宮体がん、子宮頸がん、子宮筋腫、性感染症、生理に関するトラブルなど、子宮、卵巣、卵管、膣などに起こる女性特有の疾病を指します。

※この調査における「性感染症」とは、性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスなどを指します。

※この調査における「不育」とは、繰り返す流産・死産によって生児を得られない状態を言います。

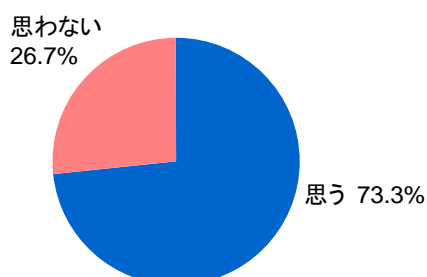
※婦人科系疾患の理解度別の比較について

本調査では、婦人科系疾患の知識を問う5つの設問の正解率によって、回答者を【理解度高：4～5問正解】【理解度中：2～3問正解】【理解度低：0～1問正解】の3グループに分け、理解度や知識量の差によって、回答にどのような差があるか比較しました。  
⇒次ページ【理解度別のグルーピング】参照

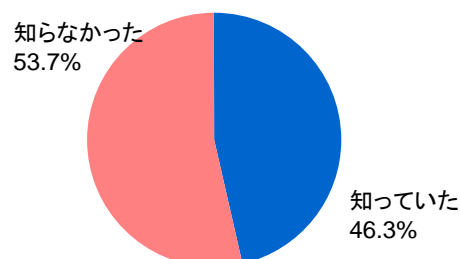
## 【理解度別のグルーピング】

理解度	実数	割合
高 (4~5 問正解)	177	29.5%
中 (2~3 問正解)	250	41.7%
低 (0~1 問正解)	173	28.8%
合計	600	100.0%

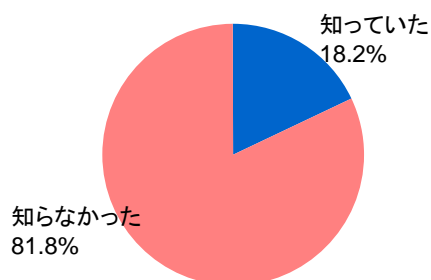
Q1. 生理不順や腹痛、貧血などが、何らかの婦人科系疾患の症状である可能性があると思いますか。



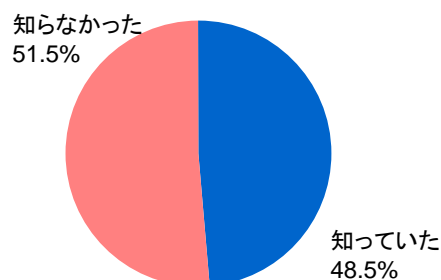
Q2. 子宮頸がんは、ウイルス感染が原因の病気であり、性交経験がある人は誰でもそのウイルスに感染する可能性があるということを知っていましたか。



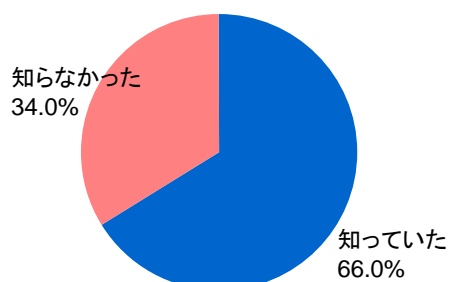
Q3. 子宮頸がんは、性交を開始する年齢に達する前にワクチンを接種することで、原因となる主要なウイルスの感染を予防することができるかとされていますが、そのことを知っていましたか。



Q4. 最近、子宮頸がんの発症が若年化しており、多くが結婚・妊娠・出産を経験する年代である20代~30代での発症が増えていることを知っていましたか。



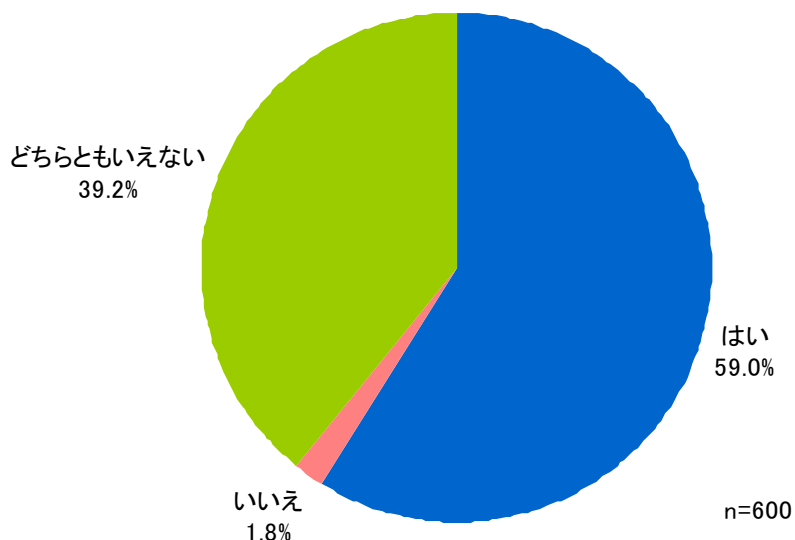
Q5. 女性がかかる性感染症の中には、進行すると子宮外妊娠、不妊、流産の原因になるなど、将来にも深刻な影響を及ぼすものがあることを知っていましたか。



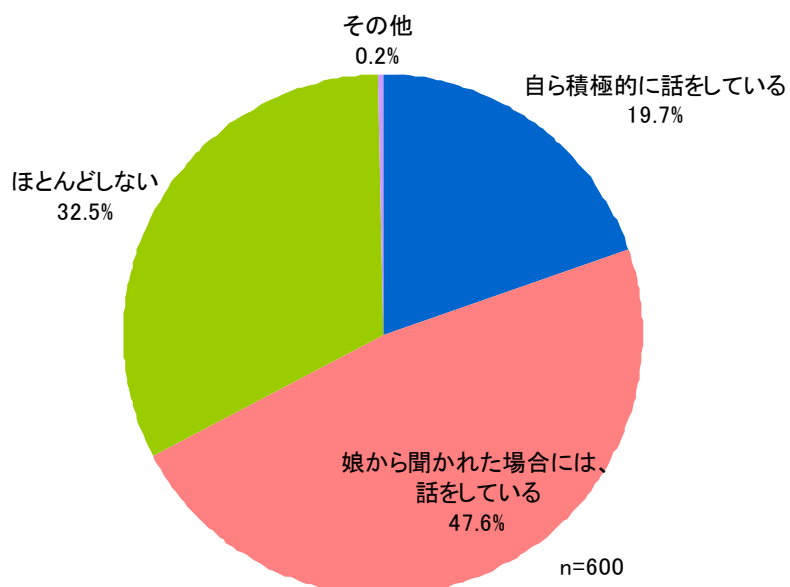
【グラフ1】

■ 「娘の婦人科系疾患の予防や対策に、母親は積極的に関与すべき」と考える母親は59%、一方で、「婦人科系疾患について自ら積極的に話ができている」のは、19.7%

Q. 娘の、性感染症や生理に関するトラブルを含む婦人科系疾患の予防や対策に対して、母親は積極的に関与すべきと思いますか？



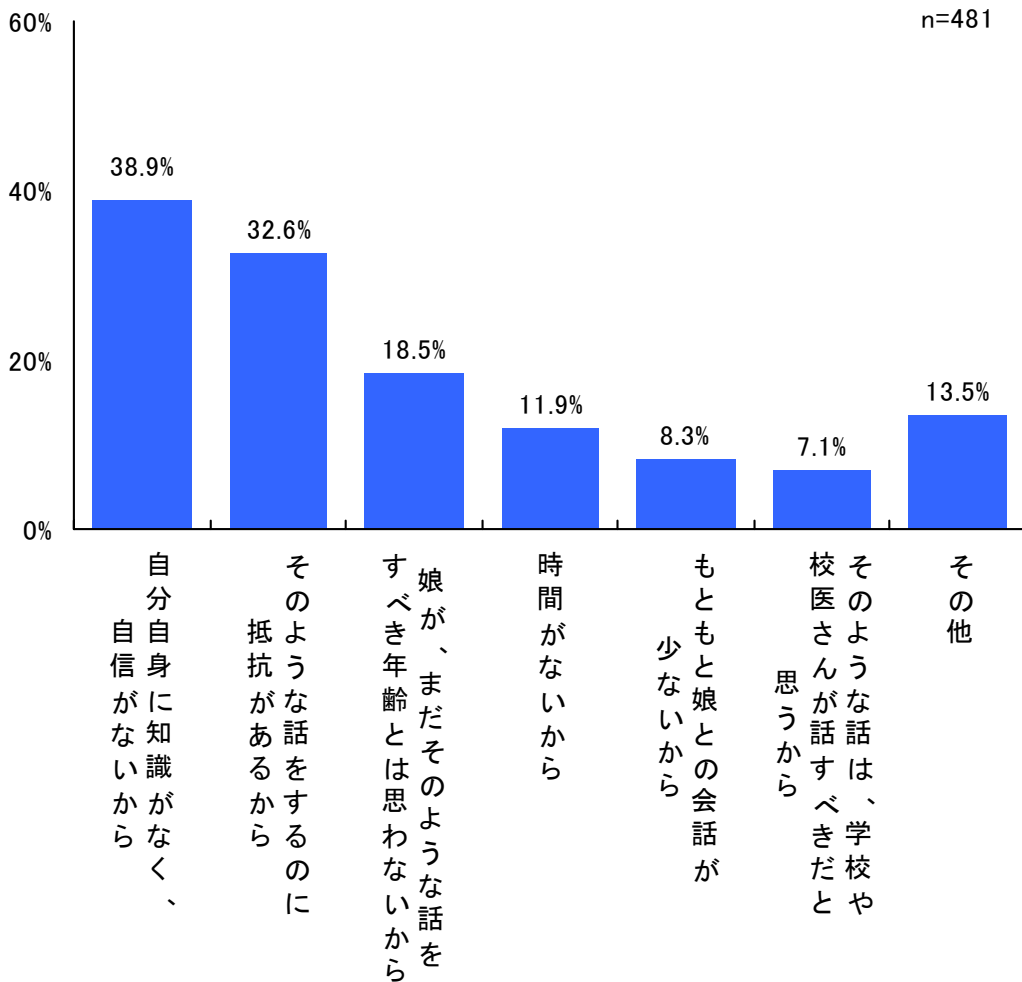
Q. 娘と、性感染症や生理に関するトラブルを含む婦人科系疾患と、その予防や対策について、話をしていますか。



【グラフ2】

■ 母親が娘と婦人科系疾患について話をしない理由は、「知識不足」と「抵抗感」が主な原因

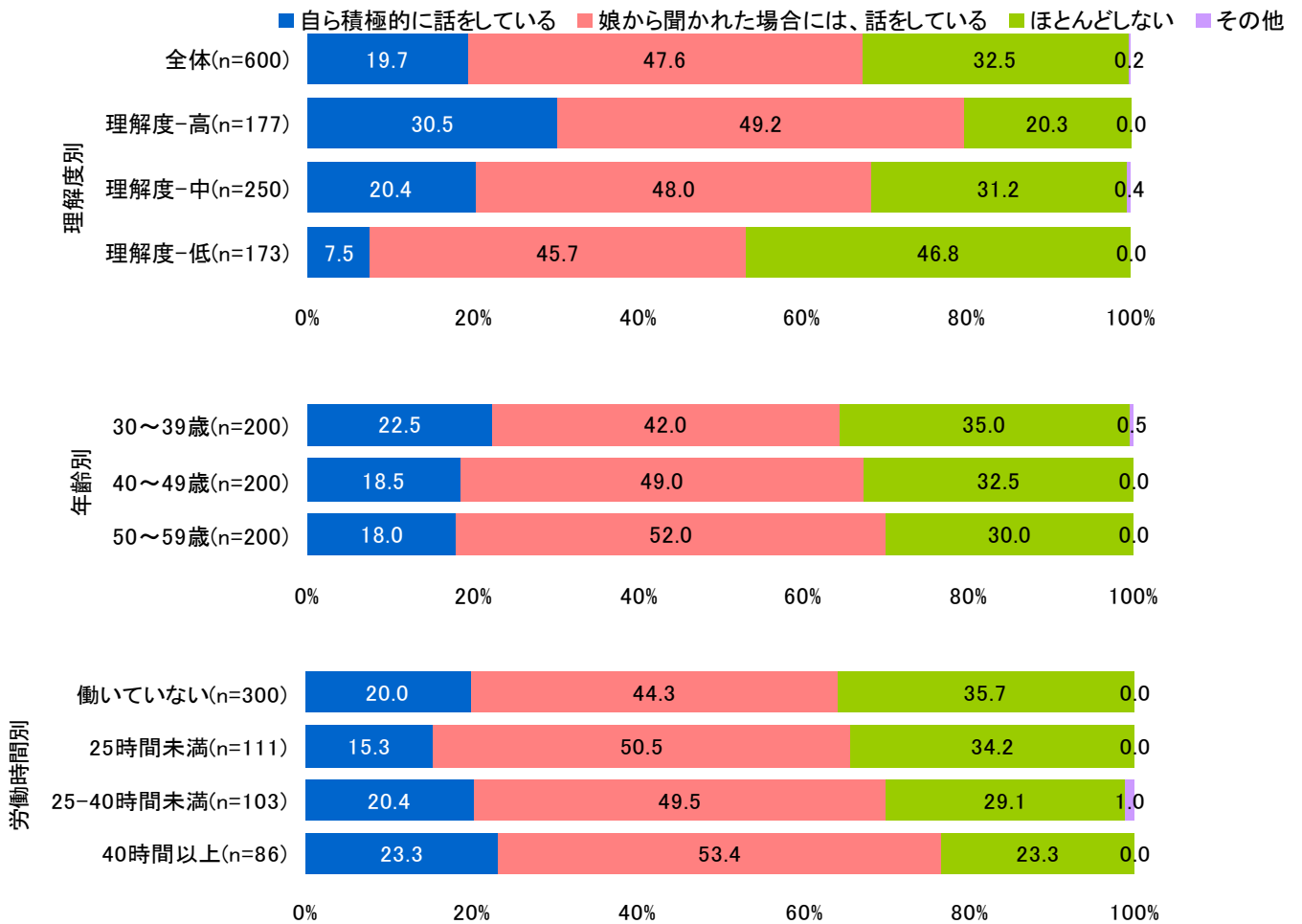
Q. (「娘と、性感染症や生理に関するトラブルを含む婦人科系疾患と、その予防や対策について、話をしていますか」で「娘から聞かれた場合には、話をしている」「ほとんどしない」と答えた方に対する質問。) その理由は何ですか。



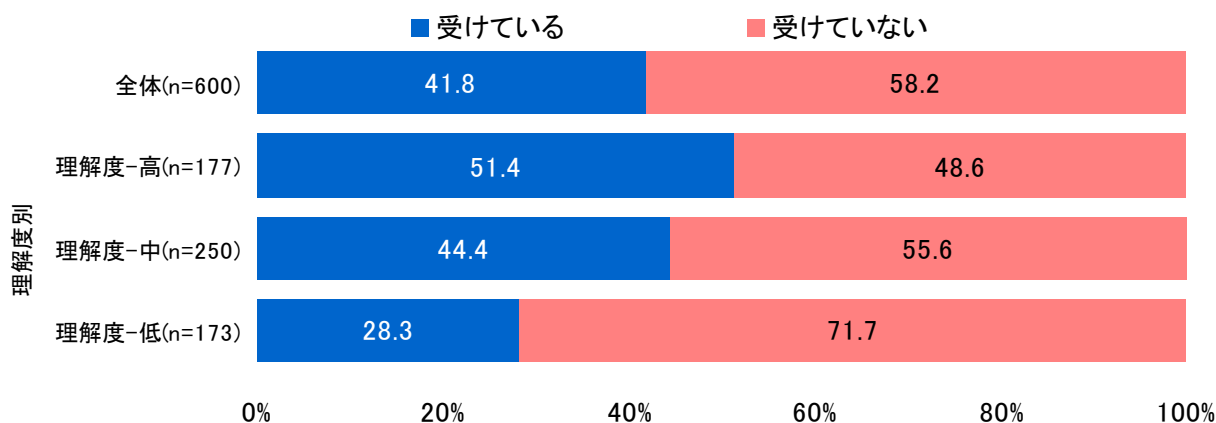
【グラフ3】

■ 正しい知識を持つ母親ほど、娘の婦人科系疾患の予防や対策に積極的に関与できており、自分自身の健康管理にも積極的

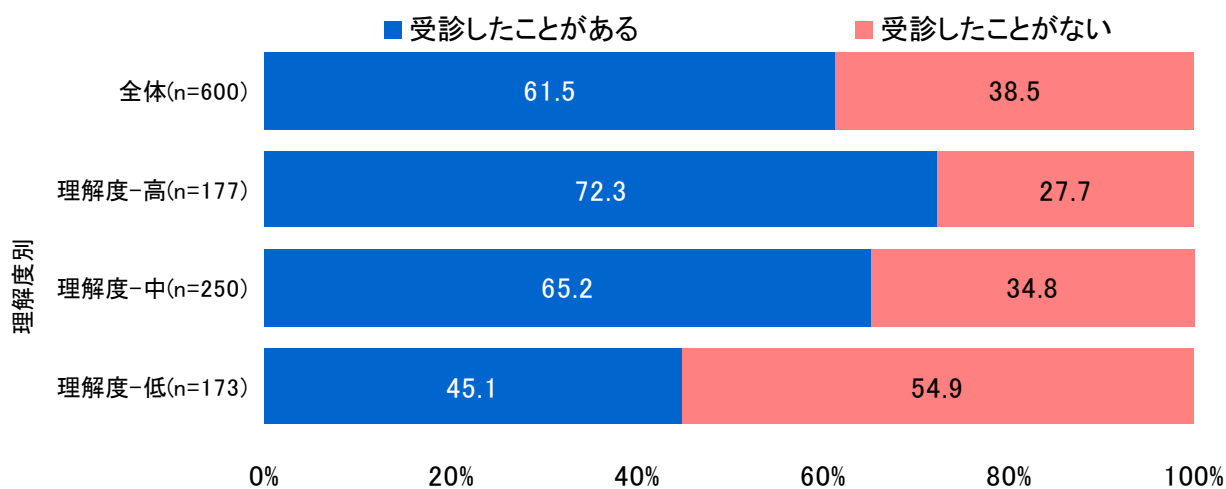
Q. 娘と、性感染症や生理に関するトラブルを含む婦人科系疾患と、その予防や対策について、話をしていますか。（婦人科系疾患への理解度、年齢、労働時間別）



Q. あなたは、定期的に婦人科系疾患の健康診断を受けていますか。(婦人科系疾患の理解度別)



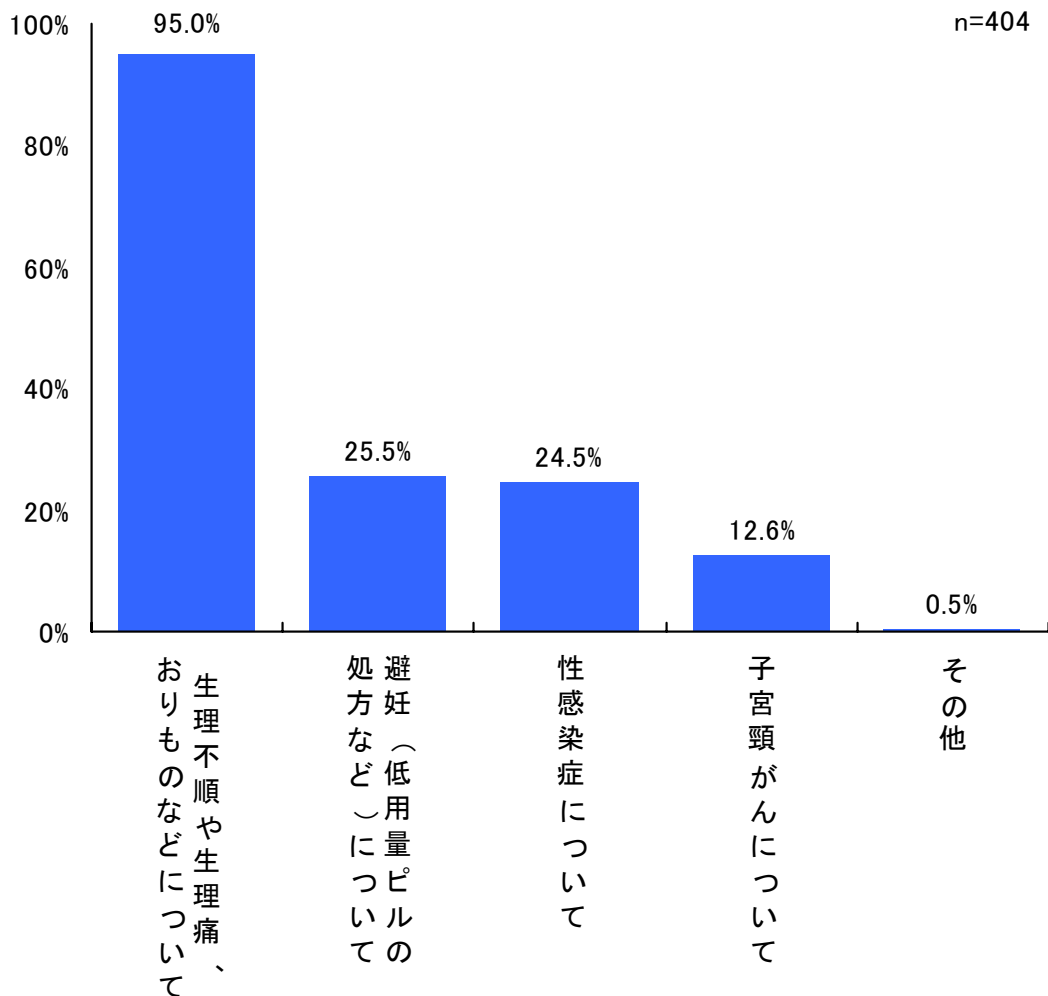
Q. これまでに、健康診断と出産以外で、婦人科（産婦人科、レディースクリニックなど含む）を受診したことがありますか。(婦人科系疾患の理解度別)



【グラフ 4】

- 娘と婦人科系疾患について話をしている内容は、「生理不順や生理痛、おりものなどについて」(95.0%)がほとんどで、「避妊」(25.5%)、「性感染症」(24.5%)、「子宮頸がん」(12.6%)は少ない

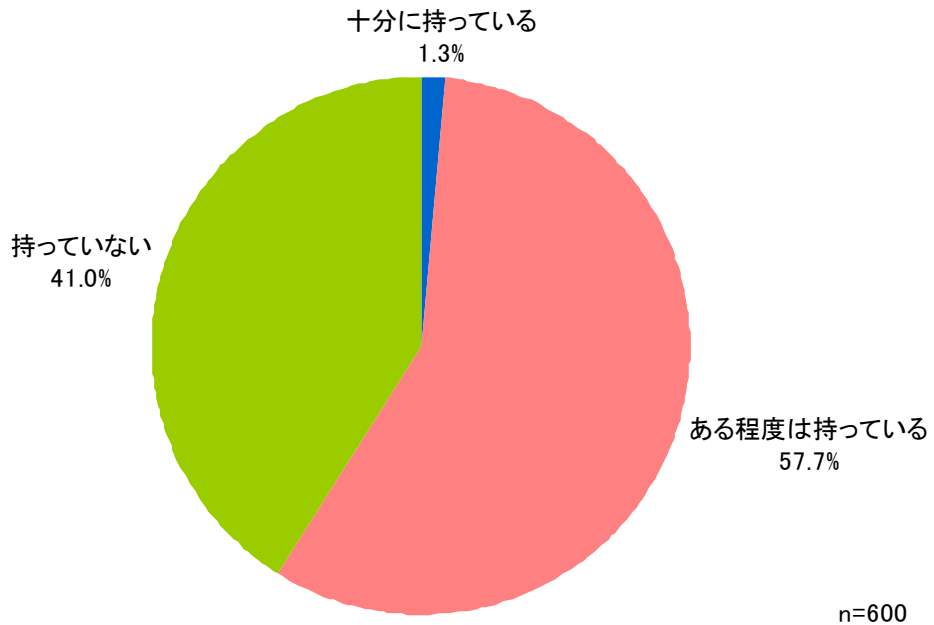
Q. (「娘と、性感染症や生理に関するトラブルを含む婦人科系疾患と、その予防や対策について、話をしていますか」で「自ら積極的に話をしている」「娘から聞かれた場合には、話をしている」と答えた方に対する質問。)  
具体的に、どのようなことを話していますか。(複数回答可)



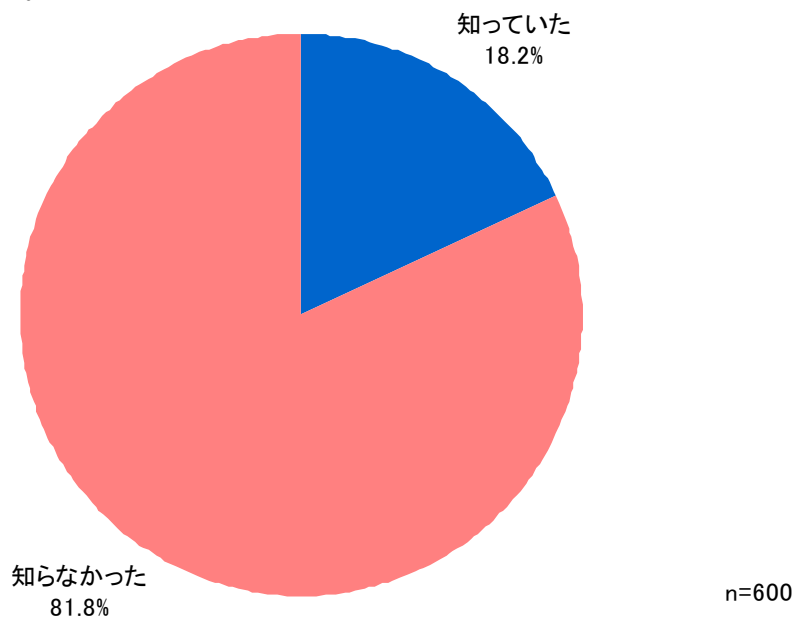
【グラフ5】

- 婦人科系疾患に対する知識は、全体の 59%が「持っている」と回答。しかしながら、子宮頸がんが、性交開始年齢前のワクチン接種で、原因となる主要なウイルスの感染を予防できることについては、81.8%が「知らなかった」

Q. あなたは、婦人科系疾患に対する知識（原因、症状、予防対策、治療法など）を持っていると思いますか。



Q. 子宮頸がんは、性交を開始する年齢に達する前にワクチンを接種することで、原因となる主要なウイルスの感染を予防することができるとされていますが、そのことを知っていましたか。





Q. 子宮頸がんは、ウイルス感染が原因の病気であり、性交経験がある人は誰でもそのウイルスに感染する可能性があるということを知っていましたか。

